

全国大会競技問題 (2008. 7. 27)

〔I〕関連用語と情報活用

(解答時間 問題【1】，【2】，【3】，【4】とあわせて40分)

注意事項

- (1) 解答は明瞭に記入してください。
- (2) 筆記用具は、鉛筆またはシャーペンと消しゴムです。
- (3) 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- (4) 答案を訂正する場合は、消しゴムではっきり消してください。
- (5) 答案作成が終わっても、着席したまま静かにしてください。
- (6) 途中で気分が悪くなった場合は、手をあげて係員に知らせてください。

【注意】 係員の指示があるまで、問題に手を触れないでください。

【1】 次の文に最も関連の深い語を解答群から選び、記号で答えなさい。

1. テストにおける品質を判断するためのグラフにおいて、累積エラー数とテスト実施項目数の関係を表した曲線。テスト時間が長くなれば、エラー累積数は一定値に近づく。

ア ギンベルツ曲線 イ バスタブ曲線 ウ ベジエ曲線 エ 近似曲線

2. 正常な入力データの範囲が、 $100 \leq \text{入力データ} < 200$ の場合に、限界値分析に用いる適切なテストデータ。

ア 100, 101, 200, 201 イ 100, 101, 199, 200 ウ 99, 100, 200, 201 エ 99, 100, 199, 200

3. LANからのインターネット接続において、プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを相互に変換する機能。

ア DNS イ NIC ウ NAT エ サブネットマスク

4. OSI参照モデルの第2層に対応した高い信頼性と効率性を持つフラグ同期式シリアル伝送方法で、メインフレームのオンラインシステムなどで利用されることが多い。

ア CRC イ RSA ウ FDDI エ HDLC

5. クライアントの持つハードウェアやソフトウェアの情報を集めて管理に利用する機能。新たに周辺機器が取り付けられた情報やソフトウェアがインストールされた情報を得ることができる。

ア インベントリ収集 イ インプリメント
ウ インヘリタンス エ インバータ

6. 顧客に電話やFAXで対応する際のサービス向上のために、コンピュータと電話機やFAXを連携する技術。着信があると、顧客情報がデータベースから呼び出され、画面に表示される機能などがある。

ア VoIP イ VPN ウ CTI エ PIAFS

7. ディスク故障等の物理障害時にデータベースを回復する方法で、バックアップデータをリストアした後、バックアップ時以降のジャーナルファイルを利用する。

ア ロールバック イ ロールフォワード
ウ リポート エ デュプレキシング

8. フラッシュメモリなどの半導体メモリを磁気ディスクの代わりに用いる記憶装置。磁気ディスクと比較して、衝撃に強く消費電力が少ないなどの長所を持つ。

ア SSD イ SaaS ウ SOA エ USB

9. システム開発の各段階において行うレビューのうち、開発に直接携わらなかった第三者を中心に進める方法。開発者自身が見つけにくい問題点を見つけやすい。

ア KJ法 イ ブレインストーミング
ウ ウォークスルー エ インスペクション

10. Webサーバ上で実行されたプログラムの結果をブラウザに表示する仕組み。アクセスカウンタが代表的である。

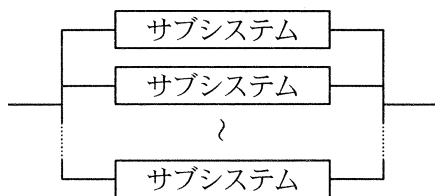
ア CASE イ CAI ウ CGI エ CISC

【2】 次の各問いに答えなさい。

- 10進数の演算式 $5 \div 16$ の結果を2進数で表すといくつか。
- 6種類の文字 "A", "B", "C", "D", "E", "F" を, 1個以上n個の組み合わせで符号を作る。250通りの符号を作るときのnの最小値は何個か。
- 16進数で表される10個のデータ 1A, 1B, 20, 38, 4C, 53, 9F, AB, B7, CA を順にハッシュ表に入れる。ハッシュ値をハッシュ関数 $f(\text{データ}) = \text{mod}(\text{データ}, 16)$ で求めたとき, 最初に衝突が起こる(既に表にあるデータと等しいハッシュ値になる)のはどのデータか。ここで, $\text{mod}(a, b)$ はaをbで割った余りを表す。
- コンピュータシステムの運転状況を集計したところ, 各月のCPUの使用率と遊休時間の合計は表のとおりであった。この3か月間におけるCPUの平均使用率は何%か。ただし, パーセントの小数点以下は四捨五入する。

月	使用率 (%)	遊休時間の合計 (時間)
5	80	100
6	90	56
7	95	30

- 200個の部品を検査したところ, 異常Aが検出されたものは25個, 異常Bが検出されたものは10個, 異常Cが検出されたものは9個であった。また, AとCの両方が検出されたものは6個あり, BとCの両方が検出されたものはなかった。異常が検出されなかった部品が167個のとき, 異常Aと異常Bの両方が検出された部品は何個か。
- 平均命令実行時間が20ナノ秒のコンピュータがある。このコンピュータの性能は何MIPSか。
- 図のような並列システムにおいて, 各サブシステムの稼働率が70%のとき, システム全体の稼働率を99%以上にするためには, 最低何台のサブシステムを並列に構成する必要があるか。ここで, サブシステムが1台でも稼働しているとき, システム全体は稼働しているものとする。



- 次の条件で音声をフロッピーディスクに記録した場合, 記録できる音声は何秒間か。なお, 秒の小数点以下は切り捨てる。
 サンプルレート: 11KHz サンプル値: 16ビット
 フロッピーディスク容量: 1.4×10^6 バイト データは圧縮しない
- 横 12.7cm, 縦 25.4cm の画像を, 解像度 300dpi, 1ドットあたり 24ビットの色情報を指定してスキャナで読み取ると, データ量は何Mバイトか。ここで, 1インチは 2.54cm, 1Mは 10^6 とする。
- 1台のサーバ機と複数台のクライアント機でネットワークを構築したい。サーバ機のIPアドレスが 192.168.3.1, サブネットマスクが 255.255.255.248 のとき, 同一のネットワークアドレスとなるクライアント機は, 最大で何台設置することができるか。

【3】 次の(1)、(2)の問題を解きなさい。

(1) 次の表は、ある企業の就職採用試験の1次試験の結果を集計したものである。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「採点表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	
1	受験番号	受験者名	必須問題			選択問題				選択加点対象				必須問題計	選択問題計	合計点	
2			1	2	3	4	5	6	7	4	5	6	7				
3	1	安達 ○○	95	90	97	28	39			1	1	0	0	282	67	349	
4	2	安倍 ○○	100	100	46	79		69		1	0	1	0	246	148	394	
5	3	安東 ○○	98	95	100	100		95	100	1	0	1	0	293	195	488	
6	4	伊東 ○○	100	100	100		20	10		0	1	1	0	300	30	330	
7	5	井上 ○○	65	75	80		80		70	0	1	0	1	220	150	370	
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	
52	50	鴨志田 ○○	12	0	54	31	83	72	90	1	1	0	0	66	114	180	
53														平均点	215.8	112.8	328.6

シート名「作業シート」

	A	B	C	D
1	一意値	一意値順位	受験番号	受験者名
2	349099	13	1	安達 ○○
3	394098	4	2	安倍 ○○
4	488097	3	3	安東 ○○
5	330096	16	4	伊東 ○○
6	370095	8	5	井上 ○○
?	?	?	?	?
51	180050	43	50	鴨志田 ○○

シート名「結果表」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	連番	順位	受験番号	受験者名	必須問題計	選択問題計	合計点	判定
2	1	1	8	遠藤 ○○	300	200	500	面接試験へ
3	2	2	7	宇田 ○○	295	200	495	面接試験へ
4	3	3	3	安東 ○○	293	195	488	面接試験へ
5	4	4	2	安倍 ○○	246	148	394	面接試験へ
6	5	4	36	田中 ○○	280	114	394	面接試験へ
7	6	6	45	一條 ○○	295	80	375	
8	7	7	20	石井 ○○	213	160	373	
9	8	8	5	井上 ○○	220	150	370	面接試験へ
10	9	8	14	関根 ○○	190	180	370	
11	10	10	19	鈴木 ○○	225	139	364	面接試験へ
?	?	?	?	?	?	?	?	?
51	50	50	49	田辺 ○○	50	76	126	

処理条件

1. シート名「採点表」は、以下の手順にしたがって作成する。

1次試験は筆記試験で実施され、問題番号1～3が必須問題、4～7が選択問題である。選択問題は4科目のうち2科目を選択するが、3科目以上解答した場合は、問題番号の昇順に2科目までの合計を選択問題の点数として集計する。ただし、受験者は50名以内とする。

① A列からI列は、「受験番号」の昇順に値を入力する。

② 「選択加点対象」は、「選択問題」に点数が入力されていれば、「1」を、それ以外は「0」を表示する。ただし、3科目以上選択している場合は、問題番号の昇順に2科目までを「1」と表示する。

③ 「選択問題計」は、「選択加点対象」が「1」と表示された問題の合計点を表示する。

2. シート名「作業シート」は、以下の手順にしたがって作成する。

このシートは、シート名「結果表」を「合計点」の降順に表示するための作業領域である。

① 「一意値」は、以下の式で計算する。

シート名「採点表」の「合計点」× 1000 + 100 - 「受験番号」

② 「一意値順位」は、「一意値」の降順に順位をつける。

③ C列とD列は、シート名「採点表」の値を参照する。

3. シート名「結果表」は、以下の手順にしたがって作成する。

- ① 「連番」は、1から順に入力する。
- ② 「順位」は、「合計点」の降順に順位をつける。
- ③ 「受験番号」と「受験者名」は、「連番」をもとにシート名「作業シート」を参照し表示する。
- ④ E列からG列は、「受験番号」をもとにシート名「採点表」を参照し表示する。
- ⑤ 「判定」は、「必須問題計」と「選択問題計」がともにシート名「採点表」の「平均点」以上の場合に「面接試験へ」と表示し、それ以外は何も表示しない。

設問1 シート名「採点表」の J3 に設定する式の空欄 (1), (2) にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式を J3~M52 にコピーする。

=IF((1) (2), F3<>""), 1, 0)

解答群

ア	COUNT(F3:F3)<=2	イ	SUM(F3:F3)<=200	ウ	COUNT(\$F3:F3)<=2
エ	NOT	オ	AND	カ	OR

設問2 シート名「採点表」の O3 に設定する式の空欄 (1) ~ (4) にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式を O4~O52 にコピーする。

= (1) (2), (3), (4))

解答群

ア	">=0"	イ	1	ウ	SUMIF
エ	J3:M3	オ	F3:I3	カ	SUM

設問3 シート名「結果表」の C2 に設定する式の空欄 (1) ~ (3) にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式を C3~C51 にコピーする。

= (1) (A2, (2) ! (3)), 2, FALSE)

解答群

ア	B\$2:C\$51	イ	A\$3:B\$52	ウ	作業シート
エ	HLOOKUP	オ	VLOOKUP	カ	採点表

設問4 シート名「結果表」の D2 に設定する式は複数の方法が考えられる。空欄 (1) ~ (3) にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、いずれもその式を D3~D51 にコピーする。

方法1 : =VLOOKUP(A2, 作業シート! (1) , 3, FALSE)

方法2 : =VLOOKUP(C2, 作業シート! (2) , 2)

方法3 : =VLOOKUP(C2, 採点表! (3) , 2)

解答群

ア	B\$2:D\$51	イ	A\$3:B\$52	ウ	A\$2:D\$51
エ	C\$2:D\$51	オ	\$A3:\$B52	カ	\$C2:\$C51

設問5 シート名「結果表」の H2 に設定する式を解答群から選び、記号で答えなさい。ただし、この式を H3~H51 にコピーする。

解答群

ア	=IF(AND(E2<=採点表!N\$53, F2<=採点表!O\$53), "", "面接試験へ")
イ	=IF(AND(E2>=採点表!N\$53, F2>=採点表!O\$53), "面接試験へ", "")
ウ	=IF(OR(E2>=採点表!N\$53, F2>=採点表!O\$53), "", "面接試験へ")
エ	=IF(OR(E2>=採点表!N\$53, F2>=採点表!O\$53), "面接試験へ", "")

(2) 次の表は、2008年度の売上明細データから指定した年月の売上集計を商品分類別・営業部門別に表示するものである。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「売上明細」

	A	B	C	D	E	F	G
1	売上日	営業部門	商品番号	数量	売上金額	商品分類	集計コード
2	2008/4/1	E02	S461	2,200	748,000	B05	20084E02B05
3	2008/4/1	E01	S630	1,100	253,000	B08	20084E01B08
4	2008/4/1	E02	S572	550	115,500	B08	20084E02B08
5	2008/4/2	E02	S366	1,200	300,000	B02	20084E02B02
6	2008/4/2	E03	S155	700	259,000	B01	20084E03B01
7	2008/4/3	E01	S469	1,200	372,000	B07	20084E01B07
∧	∧	∧	∧	∧	∧	∧	∧
900	2009/3/31	E01	S819	900	180,000	B01	※

(注) G900は、値の表記を省略している。

シート名「商品台帳」

	A	B	C	D
1	商品番号	商品名	販売単価	商品分類
2	S113	商品名113	420	B02
3	S115	商品名115	120	B07
∧	∧	∧	∧	∧
101	S999	商品名999	250	B09

シート名「分類部門別集計」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	抽出対象年月	2008年7月							
2									
3	商品分類	商品分類名	営業部門別売上集計(単位:千円)				営業部門別判定		
4			E01	E02	E03	合計	E01	E02	E03
5	B01	分類01	506	0	172	678	◎		
6	B02	分類02	0	1,160	1,727	2,887			◎
7	B03	分類03	207	0	1,339	1,546			◎
8	B04	分類04	300	0	924	1,224			◎
9	B05	分類05	170	0	568	738			◎
10	B06	分類06	1,757	0	1,319	3,076	◎		
11	B07	分類07	0	2,393	0	2,393		◎	
12	B08	分類08	1,687	264	338	2,289	◎		
13	B09	分類09	0	920	0	920		◎	
14	部門合計		4,627	4,737	6,387	15,751			
15	◎数計		3	2	4				

処理条件

- シート名「売上明細」は、以下の手順にしたがって作成する。
 - 「売上日」から「数量」を入力すると、「売上金額」から「集計コード」を表示する。なお、「売上日」にはシリアル値が入力されている。
 - 「売上金額」は、「商品番号」をもとに、シート名「商品台帳」を参照して求めた「販売単価」に「数量」を乗じて求める。
 - 「商品分類」は、「商品番号」をもとに、シート名「商品台帳」を参照して表示する。
 - 「集計コード」は、シート名「分類部門別集計」で使うため、以下のように構成する。
「売上日」の西暦 + 「売上日」の月 + 「営業部門」 + 「商品分類」
- シート名「商品台帳」には、すべての値が入力済みである。

3. シート名「分類部門別集計」は、以下の手順にしたがって作成する。

- ① 「商品分類」と「商品分類名」は入力済みである。
- ② C列からE列の「営業部門別売上集計 (単位：千円)」は、B1に入力された「抽出対象年月」と、「商品分類」、「営業部門」ごとに、シート名「売上明細」の「集計コード」をもとに、「売上金額」の合計を集計し、千円未満を切り捨てて表示する。なお、「抽出対象年月」にはシリアル値が入力されている。
- ③ G列からI列の「営業部門別判定」は、C列からE列のうち売上金額が最も高い部門に「◎」を表示する。

解答に使用できる演算子及び関数

四則演算子

+ - * /

比較演算子

= < > <= >=

関数

COUNTA	COUNTIF	DAY	DAVERAGE	DCOUNTA	DSUM	HLOOKUP
HOUR	IF	MINUTE	MONTH	RANK	ROUND	ROUNDDOWN
ROUNDUP	SECOND	SUM	SUMIF	TODAY	VLOOKUP	YEAR

※別シートのセルを参照するときは、セル番号の前に「シート名!」をつけること。

上記以外の演算子及び関数を使用した解答は無効とする。

設問1 シート名「売上明細」のE2に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。ただし、この式をE3～E900にコピーする。

= [(1)] (C2, [(2)]!A\$2:C\$101, 3, FALSE) [(3)]

設問2 シート名「売上明細」のG900に表示される値を記述しなさい。

設問3 シート名「分類部門別集計」のC5に設定する式の空欄(1)～(5)をうめなさい。ただし、この式をC5～E13にコピーする。

= [(1)] ([(2)] (売上明細! [(3)] ,
 [(4)] (\$B\$1)& [(5)] (\$B\$1)&C\$4&\$A5, 売上明細!\$E\$2:\$E\$900)
 /1000, 0)

設問4 シート名「分類部門別集計」のG5に設定する式の空欄(1)～(4)をうめなさい。ただし、この式をG5～I13にコピーする。

= [(1)] ([(2)] (C5, [(3)] , 0) = [(4)] , "◎", "")

設問5 シート名「分類部門別集計」のC15に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。ただし、この式をD15～E15にコピーする。

= [(1)] ([(2)] , " [(3)] ")

【4】ある料亭の予約をリレーショナル型データベースを用いて管理している。このデータベースについて各設問に答えなさい。

テーブルの構成

部屋表

部屋コード	部屋名	定員	階
-------	-----	----	---

顧客表

顧客コード	顧客名	電話番号	住所	備考
-------	-----	------	----	----

コース表

コースコード	コース名	単価
--------	------	----

予約表

予約年月日	部屋コード	顧客コード	予約人数	受付年月日	コースコード	来店予定時刻
-------	-------	-------	------	-------	--------	--------

処理条件

- この料亭は、全室個室の完全予約制で、料理は予約時に希望のコースを選択する。
なお、各部屋は1日に1組しか使用せず、料理は部屋ごとに全員が同じコースを注文する。
- 顧客から予約の連絡があると、以下の手順で予約処理を行う。
 - 希望する「予約年月日」と「予約人数」をもとに、当日に予約が入っていない部屋を検索し、予約が可能かを確認する。
 - 予約が可能であれば、過去の予約の有無を確認し、新規の場合は顧客表に追加する。
 - 希望の「コース名」と当日の「来店予定時刻」を確認し、予約表にデータを追加する。なお、同一の顧客が同一日に複数の部屋を予約することがある。
- 「定員」、「単価」、「予約人数」は数値型とし、それ以外はすべて文字型とする。なお、「予約年月日」と「受付年月日」は西暦4桁、月2桁、日2桁のYYYYMMDDの形式とする。

設問1 予約表の主キーとなる項目名を解答群から選び、記号で答えなさい。

解答群

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| ア 顧客コード | イ 部屋コード | ウ 予約年月日 |
| エ 予約年月日と部屋コード | オ 顧客コードとコースコード | |

設問2 顧客が希望する「予約年月日」と「予約人数」で予約が可能かを調べるために、部屋の「定員」が「予約人数」以上で、希望する「予約年月日」に予約が入っていない部屋を、「定員」の昇順、「階」の降順で整列し、「部屋コード」、「部屋名」、「定員」、「階」の一覧を表示するためのSQL文を作成した。空欄(1)、(2)をうめなさい。なお、「予約年月日」は2008年8月1日、「予約人数」は3名とする。

```
SELECT 部屋コード, 部屋名, 定員, 階 FROM 部屋表
WHERE 部屋コード NOT IN
      (SELECT 部屋コード FROM (1) WHERE 予約年月日 = '20080801') AND 定員 >= 3
ORDER BY 定員 ASC, 階 (2)
```

設問3 該当する「予約年月日」に予約が入っている顧客の一覧を以下のように表示するためのSQL文を作成した。空欄(1)～(3)をうめなさい。なお、「予約年月日」は2008年8月1日とする。

来店予定時刻	部屋コード	部屋名	顧客名	予約人数	コース名	備考
17:00	304	藤の間	青森〇〇	2	海鮮三味	
18:00	403	松の間	鳥取△△	9	京懐石 旬の京野菜	食物アレルギーあり

```
SELECT 来店予定時刻, Y. (1), 部屋名, 顧客名, 予約人数, コース名, 備考
FROM 部屋表 W, 顧客表 X, 予約表 Y, コース表 Z
WHERE W. (1) = Y. (1) AND X. (2) = Y. (2)
      AND Z. (3) = Y. (3) AND 予約年月日 = '20080801'
```


設問4 予約をキャンセルする連絡があったので、予約表からレコードを削除するためのSQL文を作成した。空欄(1)、(2)をうめなさい。なお、「予約年月日」は2008年7月31日、「部屋コード」は301とする。

FROM 予約表 予約年月日 = '20080731' AND 部屋コード = '301'

設問5 新しいコース料理を紹介するために、2008年の6月から7月に予約を受け付け、その間の「予約料金」の合計が10万円以上の顧客に対してダイレクトメールを発送したい。該当する「顧客コード」、「顧客名」、「予約料金の合計」の一覧を表示するためのSQL文を作成した。空欄(1)、(2)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 予約表.顧客コード, 顧客名, SUM(予約人数 * 単価) AS 予約料金の合計
FROM 顧客表, 予約表, コース表
WHERE 顧客表.顧客コード = 予約表.顧客コード
      AND コース表.コースコード = 予約表.コースコード
      AND 
GROUP BY 予約表.顧客コード, 顧客名
HAVING 
```

解答群

- | | |
|----------------------------|--|
| ア 予約人数の合計 > 100000 | オ 受付年月日 >= '20080601' AND 受付年月日 <= '20080730' |
| イ SUM(予約人数 * 単価) >= 100000 | カ (受付年月日 >= '20080601' OR 受付年月日 < '20080801') |
| ウ 予約人数 * 単価 > 99999 | キ (受付年月日 LIKE '200806%' OR 受付年月日 LIKE '200807%') |
| エ 予約人数 * 単価 > 100000 | ク 受付年月日 LIKE '200806%' AND 受付年月日 LIKE '200807%' |

設問6 現在のように部屋ごとに全員が同一のコース料理を選択するのではなく、顧客が別々のコース料理を選択できるようにデータベースの構成を変更した。変更後のE-R図の空欄(1)～(4)にあてはまるテーブル名を解答群から選び、記号で答えなさい。

変更後のテーブル構成

部屋表 顧客表 コース表

変更なし

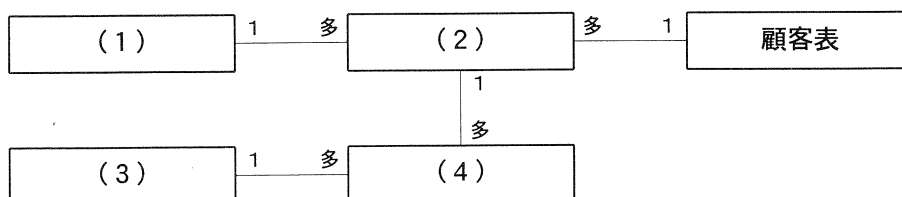
予約表 (コースコードを削除し、予約IDを追加)

予約ID	予約年月日	部屋コード	顧客コード	予約人数	受付年月日	来店予定時刻
------	-------	-------	-------	------	-------	--------

予約明細 (新規追加)

予約ID	コースコード	注文数
------	--------	-----

変更後の構成をもとにしたE-R図



解答群

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| ア 予約明細 | イ 予約表 | ウ コース表 | エ 部屋表 |
|--------|-------|--------|-------|

【I】 関連用語と情報活用 解答用紙

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	

各2点 20点

【2】

1		2	個	3		4	%	5	個
6	MIPS	7	台	8	秒	9	MB	10	

各2点 20点

【3】(1)

設問1	(1)		(2)						
設問2	(1)		(2)		(3)		(4)		
設問3	(1)		(2)		(3)				
設問4	(1)		(2)		(3)				
設問5									

設問ごとに各3点 15点

【3】(2)

設問1	(1)		(2)		(3)				
設問2									
設問3	(1)		(2)		(3)				
	(4)		(5)						
設問4	(1)		(2)		(3)		(4)		
設問5	(1)		(2)		(3)				

設問ごとに各3点 15点

【4】

設問1									
設問2	(1)		(2)						
設問3	(1)		(2)		(3)				
設問4	(1)		(2)						
設問5	(1)		(2)						
設問6	(1)		(2)		(3)		(4)		

設問ごとに各5点 30点

[I] 関連用語と情報活用 審査基準

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

1	ア	2	エ	3	ウ	4	エ	5	ア
6	ウ	7	イ	8	ア	9	エ	10	ウ

各2点 20点

【2】

1	0.0101	2	3 個	3	AB	4	89 %	5	5 個
6	50 MIPS	7	4 台	8	63 秒	9	13.5 MB	10	5

各2点 20点

【3】(1)

設問1	(1)	オ	(2)	ウ					
設問2	(1)	ウ	(2)	エ	(3)	イ	(4)	オ	
設問3	(1)	オ	(2)	ウ	(3)	ア			
設問4	(1)	ア	(2)	エ	(3)	イ			
設問5	イ								

設問ごとに各3点 15点

【3】(2)

設問1	(1)	VLOOKUP	(2)	商品台帳	(3)	*D2	④ *\$D2	
設問2	20093E01B01							
設問3	(1)	ROUNDDOWN	(2)	SUMIF	(3)	\$G\$2:\$G\$900		
	(4)	YEAR	(5)	MONTH				
設問4	(1)	IF	(2)	RANK	(3)	\$C5:\$E5	(4)	1
設問5	(1)	COUNTIF	(2)	G5:G13	④ G\$5:G\$13	(3)	◎	

設問ごとに各3点 15点

【4】

設問1	エ							
設問2	(1)	予約表			(2)	DESC		
設問3	(1)	部屋コード		(2)	顧客コード		(3)	コースコード
設問4	(1)	DELETE			(2)	WHERE		
設問5	(1)	キ			(2)	イ		
設問6	(1)	エ	(2)	イ	(3)	ウ	(4)	ア

設問ごとに各5点 30点